

FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3

A decorative horizontal band with a red-to-dark-red gradient, featuring abstract, glowing white and red lines that swirl and intersect, creating a sense of motion and technology.

メッセージ集

CA92344-2518-02
2018年10月

まえがき

本書の目的

本書では、サーバ、ストレージ、スイッチなどのICT機器からファシリティ機器(PDUなど)までを統合的に管理、運用する運用管理ソフトウェアであるFUJITSU Software Infrastructure Manager (以降、「ISM」と表記)に仮想基盤向け拡張機能を追加した、FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX (以降、「ISM for PRIMEFLEX」と表記)の各機能により出力されるメッセージについて説明します。

製品マニュアル

マニュアル名称	説明
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.3 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 ユーザーズマニュアル	本製品の機能、導入手順、操作方法を説明したマニュアルです。 本製品の全機能、全操作を把握できます。 マニュアル内では、『ユーザーズマニュアル』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.3 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 操作手順書	本製品の導入手順、利用シーンに応じた操作手順を説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『操作手順書』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.3 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 REST API リファレンスマニュアル	お客様が作成したアプリケーションと本製品を連携する際に必要なAPIの使用方法、サンプル、パラメーター情報などを説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『REST API リファレンスマニュアル』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.3 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 メッセージ集	ISMおよびISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対する対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM メッセージ集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 メッセージ集	ISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対する対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX メッセージ集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.3 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集	管理対象機器のプロファイル作成の設定を行う際に選択する項目の詳細情報について説明しています。 マニュアル内では、『プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 設定値一覧	ISM for PRIMEFLEXで利用できるクラスタ作成機能、クラスタ拡張機能の自動設定内容や各機能で使用されるクラスタ定義パラメーターについて説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.3 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.3 用語集	本製品を使用するうえで理解が必要な用語の定義を説明した用語集です。 マニュアル内では、『用語集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager 1.2 セットアップガイド (Windows Server 2012 R2 版)	ISM Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager 1.2 (Windows Server 2012 R2 版)のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager 1.2 セットアップガイド (Windows Server 2012 R2 版)	ISM Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager 1.2 (Windows Server 2012 R2 版)のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。

マニュアル名称	説明
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager 1.2 セットアップガイド (Windows Server 2016 / 2019 版)	ISM Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager 1.2 (Windows Server 2016 / 2019 版) のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager 1.2 セットアップガイド (Windows Server 2016 / 2019 版)	ISM Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager 1.2 (Windows Server 2016 / 2019 版) のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server 1.2 セットアップガイド (vCenter Server 6.0 版)	ISM Plug-in for VMware vCenter Server 1.2 (vCenter Server 6.0 版) のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance 1.2 セットアップガイド (vCenter Server Appliance 6.0 版)	ISM Plug-in for VMware vCenter Server 1.2 (vCenter Server Appliance 6.0 版) のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server 1.2 セットアップガイド (vCenter Server 6.5/6.7 版)	ISM Plug-in for VMware vCenter Server 1.2 (vCenter Server 6.5/6.7 版) のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance 1.2 セットアップガイド (vCenter Server Appliance 6.5/6.7 版)	ISM Plug-in for VMware vCenter Server 1.2 (vCenter Server Appliance 6.5/6.7 版) のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager Management Pack for VMware vRealize Operations 1.0 セットアップガイド	ISM Management Pack for VMware vRealize Operations 1.0 のインストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。

上記マニュアルと併せて、ISMに関する最新情報については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>

管理対象の各ハードウェアについては、各ハードウェアのマニュアルを参照してください。

PRIMERGYの場合は、「ServerView Suite ServerBooks」、またはPRIMERGYマニュアルページを参照してください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

本書の読者

このマニュアルは、サーバやストレージなどのICT機器の統合的な管理・運用を検討される方で、かつ、ハードウェア、オペレーティングシステムおよびソフトウェアについて基礎的な知識を持つ方を対象とします。

本書の表記について

表記

キーボード

印字されない文字のキーストロークは、[Enter]や[F1]などのキーアイコンで表示されます。例えば、[Enter]はEnterというラベルの付いたキーを押すことを意味し、[Ctrl]+[B]は、CtrlまたはControlというラベルの付いたキーを押しながら[B]キーを押すことを意味します。

記号

特に注意すべき事項の前には、以下の記号が付いています。

ポイント

.....
 ポイントとなる内容について説明します。



注意する項目について説明します。

変数: <xxx>

お使いの環境に応じた数値/文字列に置き換える必要のある変数を表します。

例: <IPアドレス>

用語

本書で使用している主な略語および用語については、『用語集』を参照してください。

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。また、本製品を安全にお使いいただくためには、本製品のご使用にあたり各製品(ハードウェア、ソフトウェア)をご理解いただく必要があります。必ず各製品の注意事項に従ったうえで本製品をご使用ください。本書は本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

免責事項

本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねます。本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Hyper-V、Active Directory、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red HatおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

SUSEおよびSUSEロゴは、米国およびその他の国におけるSUSE LLCの商標または登録商標です。

VMware、VMwareロゴ、VMware ESXi、VMware SMPおよびVMotionはVMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテル、Xeonは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Zabbixはラトビア共和国にあるZabbix LLCの商標です。

PostgreSQLはPostgreSQLの米国およびその他の国における商標です。

Apacheは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。

Ciscoは、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc. およびその関連会社の商標です。

Elasticsearchは、Elasticsearch BVの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xenは、XenSource, Inc.の商標です。

その他の会社名と各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

著作権表示

Copyright 2018 FUJITSU LIMITED

本書を無断で複製・転載することを禁止します。

改版履歴

版数	提供年月	章・節・項	変更箇所	変更内容
01	2018年8月	—	—	新規作成
02	2018年10月	第2章 クラスタ作成機能のメッセージ 第3章 クラスタ拡張機能のメッセージ	—	以下のメッセージ発生元を追加 ● パラメーターの削除 ● パラメーターのインポート ● パラメーターのエクスポート
		2.4 クラスタ作成エラー時の対処例	—	対処例6を追加 対処例21を追加(ISM 2.3.0.b以降) 対処例22を追加(ISM 2.3.0.b以降) 対処例23を追加
		3.7 パラメーターの削除時のメッセージ 3.11 パラメーターのインポート時のメッセージ 3.12 パラメーターのエクスポート時のメッセージ	—	メッセージを追加
		3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例	—	対処例6を修正(ISM 2.3.0.b以降) 対処例19を追加

目次

第1章 クラスタ管理機能のメッセージ	1
1.1 クラスタ管理サービスに関するメッセージ.....	2
1.2 ストレージプール一覧情報の取得時のメッセージ.....	3
1.3 ストレージプール詳細情報の取得時のメッセージ.....	4
1.4 ストレージプール履歴情報の取得時のメッセージ.....	5
1.5 リソースリスト情報の取得時のメッセージ.....	7
1.6 クラスタ情報一覧の取得時のメッセージ.....	8
1.7 クラスタ詳細情報の取得時のメッセージ.....	9
1.8 ホストのメンテナンスモード設定時のメッセージ.....	10
1.9 ホストのメンテナンスモード解除時のメッセージ.....	12
1.10 仮想マシンの移動時のメッセージ.....	14
1.11 仮想マシンの起動時のメッセージ.....	16
1.12 仮想マシンの停止時のメッセージ.....	18
1.13 仮想マシンのシャットダウン時のメッセージ.....	19
1.14 ホストの再起動時のメッセージ.....	21
1.15 ステータス更新に関するメッセージ.....	22
1.16 クラスタの設定変更のメッセージ.....	24
1.17 Storage Spaces Direct 仮想ディスク補修のメッセージ.....	26
第2章 クラスタ作成機能のメッセージ	28
2.1 クラスタ作成の実行時のメッセージ.....	29
2.2 クラスタ作成の実行の中止時のメッセージ.....	32
2.3 クラスタ作成時のメッセージ.....	34
2.4 クラスタ作成エラー時の対処例.....	37
第3章 クラスタ拡張機能のメッセージ	47
3.1 クラスタ拡張とクラスタ作成のサービスに関するメッセージ.....	48
3.2 パラメーターの種類一覧出力時のメッセージ.....	49
3.3 パラメーターの作成時のメッセージ.....	51
3.4 パラメーターの一覧出力時のメッセージ.....	52
3.5 パラメーターの個別出力時のメッセージ.....	54
3.6 パラメーターの更新時のメッセージ.....	56
3.7 パラメーターの削除時のメッセージ(ISM 2.3.0.b以降).....	58
3.8 クラスタ拡張の実行時のメッセージ.....	60
3.9 クラスタ拡張の実行の中止時のメッセージ.....	63
3.10 不要パラメーターの削除時のメッセージ.....	65
3.11 パラメーターのインポート時のメッセージ(ISM 2.3.0.b以降).....	67
3.12 パラメーターのエクスポート時のメッセージ(ISM 2.3.0.b以降).....	69
3.13 クラスタ拡張時のメッセージ.....	71
3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例.....	73
第4章 ファームウェアローリングアップデート機能のメッセージ	81
4.1 重要度が「警告」のメッセージ.....	81
4.2 重要度が「エラー」のメッセージ.....	83

第1章 クラスタ管理機能のメッセージ

クラスタ管理機能から出力されるメッセージについて説明します。

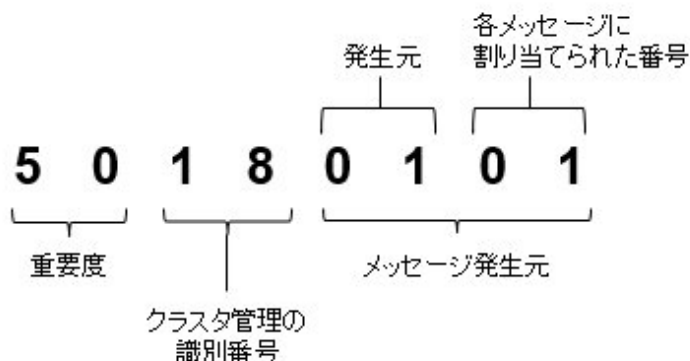
メッセージの出力

クラスタ管理に関するメッセージは、ISMのイベントログとして出力されます。

イベントログは、ISMのGUIでグローバルナビゲーションメニューから[イベント]-[イベント]を選択して参照できます。

メッセージ体系

クラスタ管理に関するメッセージの体系は以下のとおりです。



- 重要度

メッセージ内容の重要度を示します。メッセージIDと重要度の関係は以下のとおりです。

メッセージID (上2桁)	重要度	説明
10	info	通常の情報通知です。対処は不要です。
30	warning	警告の通知です。必要に応じて対処が必要です。
50	error	異常の通知です。対処が必要です。

- クラスタ管理の識別番号

クラスタ管理に割り当てられている固定の識別番号であり、「18」です。

- メッセージ発生元

メッセージを発生させた箇所を表す番号(上2桁)と、メッセージ別に割り当てられる番号(下2桁)で構成されます。

メッセージIDとメッセージ発生元の関係は以下のとおりです。

メッセージID (下4桁)	メッセージ発生元	説明
00xx	クラスタ管理のサービス	クラスタ管理サービスに関するメッセージです。
01xx	ストレージプールの情報一覧	ストレージプールの情報取得に関するメッセージです。
02xx	ストレージプールの詳細情報	
03xx	ストレージプール履歴情報の取得	
04xx	リソースリスト情報取得	リソースリスト情報取得に関するメッセージです。
05xx	クラスタ情報一覧の取得	クラスタの情報取得に関するメッセージです。
06xx	クラスタ詳細情報の取得	

メッセージID (下4桁)	メッセージ発生元	説明
07xx	vSANホストのメンテナンスモードの設定	vSANホストのメンテナンスモードの設定に関するメッセージです。
08xx	vSANホストのメンテナンスモードの解除	
09xx	仮想マシンの移動	vSAN環境における仮想マシンの移動、起動、停止およびシャットダウンに関するメッセージです。
10xx	仮想マシンの起動	
11xx	仮想マシンの停止	
12xx	仮想マシンのシャットダウン(vSAN)	
13xx	vSANホストの再起動	vSANホストの再起動に関するメッセージです。
14xx	ホストのメンテナンスモードの設定	PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directホストのメンテナンスモードの設定に関するメッセージです。
15xx	ホストのメンテナンスモードの解除	
16xx	仮想マシンの移動	PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct環境における仮想マシンの移動、起動、および停止に関するメッセージです。
17xx	仮想マシンの起動	
18xx	仮想マシンの停止	
19xx	ホストの再起動	PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directホストの再起動に関するメッセージです。
20xx	ステータスの更新	クラスタ情報の情報更新時に関するメッセージです。
21xx	クラスタの設定変更	PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct環境における、フェイルオーバークラスタの設定変更に関するメッセージです。



注意

保守資料の採取方法については、『ユーザーズマニュアル』の「4.5.2 ISM for PRIMEFLEXの保守資料」を参照してください。

1.1 クラスタ管理サービスに関するメッセージ

10180000: ResourceListサービスの起動が完了しました。

重要度

Info

対処

不要です。

10180001: ResourceListサービスを停止しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180000: ResourceListサービスの起動に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180001: 不正なURI(<URI名>)に対する操作が実行されました。

重要度

Error

対処

URIおよびREST APIのメソッドを確認し、再度操作してください。

50180002: 内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180003: 操作をキャンセルすることは出来ません。

重要度

Error

対処

該当の操作はキャンセルできないため、完了まで待機してください。

1.2 ストレージプール一覧情報の取得時のメッセージ

10180100: ストレージプール情報一覧の取得に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180100: ストレージプール情報一覧の取得に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180101: ストレージプール情報一覧の取得に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180102: ストレージプール情報一覧の取得に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180103: ストレージプール情報一覧の取得に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180105: ストレージプール情報一覧の取得に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180108: ストレージプール情報一覧の取得に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

1.3 ストレージプール詳細情報の取得時のメッセージ

10180200: ストレージプール詳細情報の取得に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180200: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180201: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180202: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180203: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分~数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180205: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180207: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。対象外または存在しないストレージプールが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50180208: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

1.4 ストレージプール履歴情報の取得時のメッセージ

10180300: ストレージプール履歴情報の取得に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180300: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180301: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180302: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180303: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180305: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180306: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50180307: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。対象外または存在しないストレージプールが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50180308: ストレージプール履歴情報の取得に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

1.5 リソースリスト情報の取得時のメッセージ

10180400: リソースリスト情報の取得に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180400: リソースリスト情報の再取得の受付に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180401: リソースリスト情報の再取得の受付に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180402: ストレージプール詳細情報の取得に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180403: リソースリスト情報の再取得に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180404: リソースリスト情報の再取得に失敗しました。データベース書き込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180407: リソースリスト情報の再取得に失敗しました。対象外または存在しないリソースが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50180408: リソースリスト情報の再取得に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

30180409: 仮想化管理ソフトウェアに登録されている一部の機器との通信に失敗しました。

重要度

Warning

対処

仮想化管理ソフトウェアに登録されている情報を確認し、誤りがあれば修正してください。

仮想化管理ソフトウェアに登録されている情報に誤りがない場合は、対象機器との通信環境を確認し、問題があれば対処してください。

対象機器がWindowsの場合は、登録されている代表クラスタを構成するノードに停止している機器がないか、確認してください。

1.6 クラスタ情報一覧の取得時のメッセージ

10180500: クラスタ情報一覧の取得に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180500: クラスタ情報一覧の取得に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180501: クラスタ情報一覧の取得に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180502: クラスタ情報一覧の取得に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180503: クラスタ情報一覧の取得に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180505: クラスタ情報一覧の取得に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180508: クラスタ情報一覧の取得に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

1.7 クラスタ詳細情報の取得時のメッセージ

10180600: クラスタ詳細情報の取得に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180600: クラスタ詳細情報の取得に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180601: クラスタ詳細情報の取得に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180602: クラスタ詳細情報の取得に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180603: クラスタ詳細情報の取得に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分~数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180605: クラスタ詳細情報の取得に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

当該処理の入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180607: クラスタ詳細情報の取得に失敗しました。対象外または存在しないクラスタが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50180608: クラスタ詳細情報の取得に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

1.8 ホストのメンテナンスモード設定時のメッセージ

10180700: vSANホストのメンテナンスモード設定の要求を受けました。

10181401: ホストのメンテナンスモード設定に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

10181400: ホストのメンテナンスモード設定の要求を受けました。

重要度

Info

対処

不要です。

30181401: ホストのメンテナンスモード設定に成功しました。<詳細情報>

重要度

Warning

対処

不要です。

50180700: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。内部エラーが発生しました。

50181400: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180701: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

50181401: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180702: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

50181402: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180703: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

50181403: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180705: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。
50181405: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

当該処理の入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180706: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。
50181406: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50180707: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。
50181407: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50180708: vSANホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。内部通信に失敗しました。
50181408: ホストのメンテナンスモードの設定に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180709: vSANホストのメンテナンスモード設定に失敗しました。メンテナンスモードの操作に失敗しました。
50181409: ホストのメンテナンスモード設定に失敗しました。メンテナンスモードの操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.9 ホストのメンテナンスモード解除時のメッセージ

10180800: vSANホストのメンテナンスモードの解除に成功しました。
10181501: ホストのメンテナンスモードの解除に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

10181500: ホストのメンテナンスモード解除の要求を受付けました。

重要度

Info

対処

不要です。

10181501: ホストのメンテナンスモード解除に成功しました。〈詳細情報〉

重要度

Info

対処

不要です。

50180800: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。内部エラーが発生しました。

50181500: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180801: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

50181501: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180802: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

50181502: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180803: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

50181503: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180805: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。
50181505: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

当該処理の入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180806: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。
50181506: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50180807: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。
50181507: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50180808: vSANホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。内部通信に失敗しました。
50181508: ホストのメンテナンスモードの解除に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180809: vSANホストのメンテナンスモード解除に失敗しました。メンテナンスモードの操作に失敗しました。
50181509: ホストのメンテナンスモード解除に失敗しました。メンテナンスモードの操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.10 仮想マシンの移動時のメッセージ

10180900/10181600: 仮想マシン移動の要求を受けました。

重要度

Info

対処

不要です。

50180900／50181600: 仮想マシンの移動に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180901／50181601: 仮想マシンの移動に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180902／50181602: 仮想マシンの移動に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50180903／50181603: 仮想マシンの移動に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50180905／50181605: 仮想マシンの移動に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50180906／50181606: 仮想マシンの移動に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50180907／50181607: 仮想マシンの移動に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50180908／50181608: 仮想マシンの移動に失敗しました。内部通信に失敗しました。**重要度**

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50180909／50181609: 仮想マシンの移動に失敗しました。操作に失敗しました。**重要度**

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

50180910／50181610: 仮想マシンやホストの操作をキャンセルすることはできません。**重要度**

Error

対処

ISMからは仮想マシンの移動やホストの操作をキャンセルすることはできないため、完了まで待機してください。
実際の状況を確認するには、仮想化管理ソフトウェアから対象仮想マシンの状態を確認してください。

1.11 仮想マシンの起動時のメッセージ

10181000／10181700: 仮想マシンの起動に成功しました。**重要度**

Info

対処

不要です。

50181000／50181700: 仮想マシンの起動に失敗しました。内部エラーが発生しました。**重要度**

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181001／50181701: 仮想マシンの起動に失敗しました。ユーザー権限が不正です。**重要度**

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181002／50181702: 仮想マシンの起動に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181003／50181703: 仮想マシンの起動に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50181005／50181705: 仮想マシンの起動に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50181006／50181706: 仮想マシンの起動に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50181007／50181707: 仮想マシンの起動に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50181008／50181708: 仮想マシンの起動に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181009／50181709: 仮想マシンの起動に失敗しました。操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.12 仮想マシンの停止時のメッセージ

10181100/10181800: 仮想マシンの停止に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50181100/50181800: 仮想マシンの停止に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181101/50181801: 仮想マシンの停止に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181102/50181802: 仮想マシンの停止に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181103/50181803: 仮想マシンの停止に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分~数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50181105/50181805: 仮想マシンの停止に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50181106/50181806: 仮想マシンの停止に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50181107/50181807: 仮想マシンの停止に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50181108/50181808: 仮想マシンの停止に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181109/50181809: 仮想マシンの停止に失敗しました。操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.13 仮想マシンのシャットダウン時のメッセージ

10181200: 仮想マシンのシャットダウンに成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50181200: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181201: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181202: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181203: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50181205: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50181206: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターの内容を確認し、再度操作を行ってください。

50181207: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50181208: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181209: 仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.14 ホストの再起動時のメッセージ

10181300: vSANホストの再起動に成功しました。

10181901: ホストの再起動に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

10181900: ホストの再起動の要求を受けました。

重要度

Info

対処

不要です。

30181901: ホストの再起動に成功しました。〈詳細情報〉

重要度

Warning

対処

不要です。

50181300: vSANホストの再起動に失敗しました。内部エラーが発生しました。

50181900: ホストの再起動に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181301: vSANホストの再起動に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

50181901: ホストの再起動に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181302: vSANホストの再起動に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

50181902: ホストの再起動に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50181303: vSANホストの再起動に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

50181903: ホストの再起動に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50181305: vSANホストの再起動に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。
50181905: ホストの再起動に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50181306: vSANホストの再起動に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。
50181906: ホストの再起動に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50181307: vSANホストの再起動に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。
50181907: ホストの再起動に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50181308: vSANホストの再起動に失敗しました。内部通信に失敗しました。
50181908: ホストの再起動に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50181309: vSANホストの再起動に失敗しました。操作に失敗しました。
50181909: ホストの再起動に失敗しました。操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.15 ステータス更新に関するメッセージ

10182001: ステータスの更新に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50182000: ステータスの更新に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50182001: ステータスの更新に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50182002: ステータスの更新に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50182003: ステータスの更新に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50182004: ステータスの更新に失敗しました。データベース書き込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50182005: ステータスの更新に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50182006: ステータスの更新に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報、ノード登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50182007: ステータスの更新に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したリソースを確認し、再度操作を行ってください。

50182008: ステータスの更新に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50182009: ステータスの更新に失敗しました。操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象のホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.16 クラスタの設定変更のメッセージ

10182100: クラスタ設定の変更要求を受け付けました。

重要度

Info

対処

不要です。

10182101: クラスタ設定の変更に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50182100: クラスタ設定の変更に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50182101: クラスタ設定の変更に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50182102: クラスタ設定の変更に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50182103: クラスタ設定の変更に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分~数分)の間をおいて、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50182105: クラスタ設定の変更に失敗しました。入力パラメーターを解析できません。

重要度

Error

対処

入力パラメーターを確認し、再度操作を行ってください。

50182106: クラスタ設定の変更に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50182107: クラスタ設定の変更に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したクラスタの情報や状態を確認し、再度操作を行ってください。

50182108: クラスタ設定の変更に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50182109: クラスタ設定の変更に失敗しました。操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象ホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

1.17 Storage Spaces Direct 仮想ディスク補修のメッセージ

10182200: 仮想ディスク補修の要求を受け付けました。

重要度

Info

対処

不要です。

10182201: 仮想ディスクの補修に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

30182201: 仮想ディスクの補修に成功しました。<詳細情報>。

重要度

Warning

対処

不要です。

50182200: 仮想ディスクの補修に失敗しました。内部エラーが発生しました。

重要度

Error

対処

保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50182201: 仮想ディスクの補修に失敗しました。ユーザー権限が不正です。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50182202: 仮想ディスクの補修に失敗しました。リソースに対する不正なアクセスです。

重要度

Error

対処

操作中のユーザーの実行権限を確認してください。適切なユーザー権限で操作してください。

50182203: 仮想ディスクの補修に失敗しました。データベース読み込みに失敗しました。

重要度

Error

対処

しばらく(1分～数分)の間において、再度実行してください。または、ISM-VAを再起動し、再度操作を行ってください。

50182206: 仮想ディスクの補修に失敗しました。パラメーターの指定に誤りがあります。

重要度

Error

対処

入力パラメーターおよび仮想化管理ソフトウェアの登録情報を見直し、対処を行ったあとに再度操作を行ってください。

50182207: 仮想ディスクの補修に失敗しました。対象外または存在しないノードが指定されました。

重要度

Error

対処

指定したクラスタの情報や状態を確認し、再度操作を行ってください。

50182208: 仮想ディスクの補修に失敗しました。内部通信に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再度操作を行ってください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50182209: 仮想ディスクの補修に失敗しました。操作に失敗しました。

重要度

Error

対処

仮想化管理ソフトウェアより対象ホストの状態を確認し、異常を取り除いてください。その後、再度操作を行ってください。

第2章 クラスタ作成機能のメッセージ

クラスタ作成機能から出力されるメッセージについて説明します。

メッセージの出力

クラスタ作成に関するメッセージは、ISMのイベントログとして出力されます。

イベントログは、ISMのGUIでグローバルナビゲーションメニューから[イベント]-[イベント]を選択して参照できます。

メッセージ体系

クラスタ作成に関するメッセージの体系は以下のとおりです。

%X%Y%Z%WWW

%X:重要度

%Y:"0"固定

%ZZ:クラスタ作成機能の識別番号

%WWW:メッセージ発生元

- 重要度

メッセージID (上位1桁)	重要度	説明
1	Info	通常の情報通知です。対処は不要です。
3	Warning	警告の通知です。必要に応じて対処が必要です。
5	Error	異常の通知です。対処が必要です。

- クラスタ作成機能の識別番号

クラスタ作成機能に割り当てられている固定の識別番号であり、「21」です。

- メッセージ発生元

メッセージを発生させた箇所を表す番号(上2桁)と、メッセージ別に割り当てられる番号(下2桁)で構成されます。

メッセージIDとメッセージ発生元の関係は以下のとおりです。

メッセージID (下位4桁)	メッセージ発生元	説明
00xx	クラスタ拡張とクラスタ作成のサービス	クラスタ拡張とクラスタ作成のサービスに関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.1 クラスタ拡張とクラスタ作成のサービスに関するメッセージ 」を参照してください。
01xx	パラメーターの種類一覧出力	パラメーターの種類一覧出力に関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.2 パラメーターの種類一覧出力時のメッセージ 」を参照してください。
02xx	パラメーターの作成	パラメーターの作成に関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.3 パラメーターの作成時のメッセージ 」を参照してください。
03xx	パラメーターの一覧出力	パラメーターの一覧出力に関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.4 パラメーターの一覧出力時のメッセージ 」を参照してください。

メッセージID (下位4桁)	メッセージ発生元	説明
04xx	パラメーターの個別出力	パラメーターの個別出力に関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.5 パラメーターの個別出力時のメッセージ 」を参照してください。
05xx	パラメーターの更新	パラメーターの更新に関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.6 パラメーターの更新時のメッセージ 」を参照してください。
06xx	パラメーターの削除	パラメーターの削除に関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.7 パラメーターの削除時のメッセージ(ISM 2.3.0.b以降) 」を参照してください。ISM 2.3.0.b以降で出力されるメッセージです。
15xx	不要パラメーターの削除	不要パラメーターの削除に関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.10 不要パラメーターの削除時のメッセージ 」を参照してください。
16xx	クラスタ作成の実行	クラスタ作成の実行に関するメッセージです。
17xx	クラスタ作成の実行の中止	クラスタ作成の実行の中止に関するメッセージです。
25xx	パラメーターのインポート	パラメーターのインポートに関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.11 パラメーターのインポート時のメッセージ(ISM 2.3.0.b以降) 」を参照してください。ISM 2.3.0.b以降で出力されるメッセージです。
26xx	パラメーターのエクスポート	パラメーターのエクスポートに関するメッセージです。 本メッセージはクラスタ拡張機能と共通です。「 3.12 パラメーターのエクスポート時のメッセージ(ISM 2.3.0.b以降) 」を参照してください。ISM 2.3.0.b以降で出力されるメッセージです。
53xx	クラスタ作成	クラスタ作成に関するメッセージです。

注意

- クラスタ作成機能の実行時にエラーが発生した場合、クラスタ作成機能を再実行してください。対処欄に対処方法が記載されているものは対処を行ってください。再実行しても問題が解決しない場合は、保守資料を採取して当社技術員に連絡してください。
 - ー プロファイル適用によるOSインストールが完了している場合は、新規クラスタを構成するサーバの電源がオンになっていることを確認してからクラスタ作成機能を再実行してください。
 - ー 新規クラスタを構成するサーバがメンテナンスモードになっている場合は、以下の手順でメンテナンスモードを終了してからクラスタ作成機能を再実行してください。
 1. vSphere Web ClientでvCSAにログインします。
 2. ホーム画面で[ホーム]-[ホストおよびクラスタ]の[<クラスタ名>]-[<ホスト名>]を選択後、右クリックして[メンテナンス モード]-[メンテナンス モードの終了]を選択します。
- 対処欄に記載された対処方法で対処できない場合は、保守資料を採取して当社技術員に連絡してください。
- 保守資料の採取方法については、『ユーザーズマニュアル』の「4.5.2 ISM for PRIMEFLEXの保守資料」を参照してください。

2.1 クラスタ作成の実行時のメッセージ

50211601: クラスタ作成の実行に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50211602: クラスタ作成の実行に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50211603: クラスタ作成の実行に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50211604: クラスタ作成の実行に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211605: クラスタ作成の実行に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211606: クラスタ作成の実行に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50211607: クラスタ作成の実行に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50211608: クラスタ作成の実行に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50211609: クラスタ作成の実行に失敗しました。設定処理に失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定およびパラメーターの設定値を確認のうえ、再実行してください。

50211610: クラスタ作成の実行に失敗しました。検証処理に失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「[3.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧\(クラスタ作成機能\)](#)」
 - 「[3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧\(クラスタ作成機能\)](#)」
- クラスタ作成の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「[6.6.1 事前準備](#)」
 - 「[6.7.1 事前準備](#)」
- クラスタ作成の動作要件を確認してください。詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「[6.6.2.1 クラスタ作成の動作要件](#)」
 - 「[6.7.2.1 クラスタ作成の動作要件](#)」
- Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「[6.7.2.2 クラスタ作成手順](#)」の手順12～25を参照してください。

50211611: クラスタ作成の実行に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「3.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
 - 「3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
- クラスタ作成の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.6.1 事前準備」
 - 「6.7.1 事前準備」
- クラスタ作成の動作要件を確認してください。詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.6.2.1 クラスタ作成の動作要件」
 - 「6.7.2.1 クラスタ作成の動作要件」
- Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.7.2.2 クラスタ作成手順」の手順12～25を参照してください。

50211612: クラスタ作成の実行に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50211613: クラスタ作成の実行に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。

2.2 クラスタ作成の実行の中止時のメッセージ

50211701: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50211702: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50211703: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50211704: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211705: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211706: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50211707: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50211708: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50211711: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「3.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
 - 「3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
- クラスタ作成の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.6.1 事前準備」
 - 「6.7.1 事前準備」
- クラスタ作成の動作要件を確認してください。詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.6.2.1 クラスタ作成の動作要件」
 - 「6.7.2.1 クラスタ作成の動作要件」
- Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.7.2.2 クラスタ作成手順」の手順12～25を参照してください。

50211712: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50211713: クラスタ作成の実行の中止に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。

2.3 クラスタ作成時のメッセージ

10215301: クラスタ作成に成功しました。(詳細情報)

重要度

Info

対処

不要です。

50215302: クラスタ作成をキャンセルしました。

重要度

Info

対処

不要です。

50215301: クラスタ作成に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50215302: クラスタ作成に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50215303: クラスタ作成に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50215304: クラスタ作成に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50215305: クラスタ作成に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50215306: クラスタ作成に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50215307: クラスタ作成に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、クラスタ定義パラメーターの指定内容を確認してください。

50215308: クラスタ作成に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50215309: クラスタ作成に失敗しました。クラスタ作成タスクの設定処理でエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「3.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
 - 「3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
- クラスタ作成の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.6.1 事前準備」
 - 「6.7.1 事前準備」
- クラスタ作成の動作要件を確認してください。詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.6.2.1 クラスタ作成の動作要件」
 - 「6.7.2.1 クラスタ作成の動作要件」
- Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.7.2.2 クラスタ作成手順」の手順12～25を参照してください。

50215310: クラスタ作成に失敗しました。クラスタ作成タスクの検証処理でエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- ・ クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - － 「3.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
 - － 「3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)」
- ・ クラスタ作成の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - － 「6.6.1 事前準備」
 - － 「6.7.1 事前準備」
- ・ クラスタ作成の動作要件を確認してください。詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - － 「6.6.2.1 クラスタ作成の動作要件」
 - － 「6.7.2.1 クラスタ作成の動作要件」
- ・ Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.7.2.2 クラスタ作成手順」の手順12～25を参照してください。

50215313: クラスタ作成に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

対処例については、「[2.4 クラスタ作成エラー時の対処例](#)」を参照してください。

2.4 クラスタ作成エラー時の対処例

クラスタ作成の実行時にエラーが発生した場合の対処例について説明します。

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例1

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 21; task item set name = OS Settings; task item name = Joining ESXi Host to Domain; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]-[パスワード]に誤りがないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例2

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 14; task item set name = Cluster Settings; task item name = Create vmk On vDS; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、WinRMサービスが起動されているか確認してください。WinRMサービスを起動して、再実行してください。

対処例3

```
(The application of profile to node retried out; node name = esxi4; result = Error; detail code = E114505)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバの管理LANケーブルが抜けていないか確認してください。LANケーブルを接続して、再実行してください。

PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1/PRIMEFLEX for VMware vSAN V1で上記の対処が該当しない場合は、プロファイルの[OS]-[管理LANネットワークポート設定]-[ネットワークポート指定]の指定方法がMACアドレスに設定されているか確認してください。プロファイルを修正して、再実行してください。

対処例4

```
(Failed to check configuration space check using the IPMI command; command = [u' 80', u' 28', u' 00']; detail code = E000705)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバのiRMC管理LANケーブルが抜けていないか確認してください。LANケーブルを接続して、再実行してください。

対処例5

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 16; task item set name = DNS Settings; task item name = Addition of a DNS host record; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、WinRMリスナーが登録されているか、またはWinRMリスナーで設定したポートが解放されているか確認してください。WinRMリスナーを登録、またはWinRMリスナーで設定したポートを解放して、再実行してください。

WinRMリスナーの登録およびWinRMリスナーで設定したポートの解放は、以下の方法で確認できます。

- SSL暗号化通信で設定を行う場合は、『操作手順書』の「6.6.1.1 ADVMの証明書を作成する」の手順を参照してください。
- SSL暗号化通信せずに設定を行う場合は、以下のBasic認証の設定がされていることを確認してください。

(1)WinRMサービスの起動確認

『操作手順書』の「6.6.1.1.1 WinRMサービスの起動を確認する」を参照してください。

(2)WinRMサービスの設定確認

『操作手順書』の「6.6.1.1.2 WinRMサービスを設定する」-(1) WinRMサービスの設定」を参照してください。

(3)WinRMリスナーの登録確認

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。

```
winrm get winrm/config/listener?Address=**Transport=HTTP
```

以下のようなコマンド結果が返ってくれば、WinRMのリスナーが登録できています。

```
Listener
  Address = *
  Transport = HTTP
  Port = 5985
  Hostname
  Enabled = true
  URLPrefix = wsman
  CertificateThumbprint
  ListeningOn = 127.0.0.1, 192.168.111.201, ::1
```

WinRMのリスナーが登録できていない場合、コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行し、WinRMのリスナーを登録します。

```
winrm create winrm/config/listener?Address=**Transport=HTTP
```

(4)ファイアウォールのポート開放

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。

```
Show-NetFirewallRule | ?{$_.LocalPort -match 5985}
```

以下のようなコマンド結果が返ってくれば、ファイアウォールのポート開放ができています。

```
$_ | Get-NetFirewallPortFilter
Protocol      : TCP
LocalPort     : 5985
RemotePort    : Any
IcmpType      : Any
DynamicTarget : Any

$_ | Get-NetFirewallPortFilter
Protocol      : TCP
LocalPort     : 5985
RemotePort    : Any
IcmpType      : Any
DynamicTarget : Any
```

ファイアウォールのポート開放ができていない場合、コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行し、ファイアウォールのポートを開放します。

```
New-NetFirewallRule -DisplayName WinRM -Action Allow -Direction Inbound -Enabled True -Protocol TCP -LocalPort 5985
```

対処例6(ISM 2.3.0.b以降)

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 14; task item set name = OS Settings; task item name = Wait Hyperv OS Boot; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。ライセンス条項に承諾して、『操作手順書』の「6.7.2.2 クラスタ作成手順」を参照して、再実行してください。

対処例7

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 11; task item set name = OS Installation; task item name = Wait Hyperv OS Boot; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、以下の対処をして、再実行してください。

証明書が格納されているかどうかの確認方法は、以下のとおりです。

1. 新規クラスタを構成するサーバにAdministrator権限ユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. エクスプローラーを開いて、以下のディレクトリに証明書(*.cer、*.pfx)が格納されているか確認します。

```
C:\¥PostInstall¥UserApplication¥postscript_ClusterOperation
```

証明書が格納されていない場合、以下の手順で証明書を格納してください。

1. 新規クラスタを構成するサーバにリモートデスクトップ接続します。
2. エクスプローラーを開いて、以下のディレクトリに証明書(*.cer、*.pfx)を格納します。

```
C:\¥PostInstall¥UserApplication¥postscript_ClusterOperation
```

3. 以下のディレクトリを削除します。

```
C:\¥FISCRB¥Log
```

証明書が格納されている場合、以下の確認を実施してください。

1. 新規クラスタを構成するサーバにリモートデスクトップ接続します。
2. エクスプローラーを開いて、以下のディレクトリが作成されているか確認します。

```
C:\¥FISCRB
```

3. C:\¥FISCRBディレクトリが作成されている場合、以降の[OSインストール後のスクリプト]の実行は不要です。クラスタ作成を再実行してください。

証明書の格納を確認後、[OSインストール後のスクリプト]を実行します。

1. 新規クラスタを構成するサーバにリモートデスクトップ接続します。
2. 以下のバッチファイルを右クリックして[管理者として実行]を選択し、実行します。

```
C:¥PostInstall¥UserApplication¥postscript_ClusterOperation¥WinSvr_Setting.bat
```

3. 以下のファイルを開き、最後の行が「1 File(s) copied」であることを確認します。

```
C:¥FISCRB¥Log¥post_script.log
```

4. 作業で開いたファイルおよびディレクトリをすべて閉じます。

対処例8

```
(Failed to apply file; before = 500.04.V0.61-0007; after = None; detail code = E116319)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、以下を確認してください。

- VMware SMIS Providerファイルを解凍している

例: VMware SMIS Providerファイル (VMW-ESX-5.5.0-lsiprovider-500.04.V0.63-0005-offline_bundle-5240997.zip)を解凍した場合のファイル

- vmware-esx-provider-lsiprovider.vib
- VMware_MR_SAS_Providers-00.63.V0.05.txt
- README.txt

- VMware SMIS Providerファイルを複数アップロードしている

該当する場合は、以下の手順で不要なファイルを削除し、正しいファイルをアップロードして再実行してください。

不要なファイルの削除方法は、以下のとおりです。

1. 新規クラスタを構成するサーバ (ESXi) にSSH接続します。
2. 以下のコマンドを実行します。

```
cd /vmfs/volumes/datastore1
```

3. 以下のコマンドを実行して、不要なファイルを削除します。

```
rm <不要なファイル名>
```

例: VMware SMIS Providerファイルのオフラインバンドルを解凍した場合

```
rm vmware-esx-provider-lsiprovider.vib
rm VMware_MR_SAS_Providers-00.63.V0.05.txt
rm README.txt
```

4. 適用ファイルをアップロードします。

適用ファイルのアップロードについては、『操作手順書』の「6.6.1.6 VMware SMIS Providerをアップロードする」を参照してください。

対処例9

```
(Failed to connect to the SSH command target; host = 192.168.110.105; user = root; port = 22; detail = [Errno 113] No route to host; detail code = E000802)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバの電源がオンか確認してください。新規クラスタを構成するサーバの電源をオンにして、再実行してください。

対処例10

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 20; task item set name = Cluster Settings; task item name = Add Port On Host To vDS Single Port; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[ノード詳細情報]-[vDS]-[vDS]-[物理NIC]-[vmnic名]に誤りがないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例11

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 21; task item set name = Cluster Settings; task item name = Create vmk On vDS; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、お客様環境のvDS「vSwitch1」にポートグループ「vSAN Network」が存在するか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例12

(Failed to connect to the SSH command target; host = 192.168.190.107; user = root; port = 22; detail = [Errno 111] Connection refused; detail code = E000802)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバにリモートデスクトップ接続し、SSHサービスが起動されているか確認してください。SSHサービスを起動して、再実行してください。

SSHサービスの確認方法は、以下のとおりです。

1. 新規クラスタを構成するサーバのOSにWebブラウザでアクセスします。
2. [管理]-[サービス]で以下のサービスの[ステータス]が「起動」であることを確認します。

名前:TSM

名前:TSM-SSH

SSHサービスの起動方法は、以下のとおりです。

1. 以下のサービスを選択し、[アクション]-[ポリシー]-[ホストと連動して起動および停止]を実行します。

名前:TSM

名前:TSM-SSH

対処例13

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 22; task item set name = Cluster Settings; task item name = Add Host To Cluster; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、仮想リソース管理機能の事前設定を確認してください。事前設定をして、再実行してください。

仮想リソース管理機能の事前設定については、『ユーザーズマニュアル』の「3.8 仮想リソース管理機能の事前設定」を参照してください。

対処例14

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 25; task item set name = Cluster Settings; task item name = Create Vm Switch; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ作成時に追加するサーバのプロファイルのドメインユーザー名/ドメインパスワードを誤って指定している可能性があります。プロファイルの設定が正しいか確認してください。

対処例15

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 15; task item set name = Cluster Settings; task item name = Add Host To Datacenter; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]-[vSAN分散仮想スイッチ設定]-[vDS-1およびvDS-2]-[ポートグループ]-[IPv4ネットワークアドレス]に誤りがないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

VMkernelアダプタが作成されている場合は、以下の手順でVMkernelアダプタを削除してから再実行してください。

1. vSphere Web ClientでvCSAにログインします。
2. [トップ画面]-[ホーム]タブ-[インベントリ]-「ホストおよびクラスタ」の[<クラスタ名>]-[<ホスト名>]-[設定]-[ネットワーク]-[VMkernelアダプタ]を選択します。

3. IPアドレスを確認して、誤って指定しているIPアドレスのVMkernelアダプタを選択し、[選択したネットワークアダプタを削除します]を選択します。
4. 「VMkernel アダプタの削除」画面で削除するVMkernelアダプタを確認して、[OK]ボタンを選択します。
タスクが完了するとVMkernel アダプタの削除が完了します。

対処例16

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 15; task item set name = OS Installation; task item name = OS Version; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバがハングアップしていないか確認してください。新規クラスタを構成するサーバを再起動して、再実行してください。iRMC Web Serverで[電源]ボタンを選択して[パワーサイクル]を選択することで、サーバを再起動できます。

対処例17

(The application of profile to node retried out; node name = hv-host5; result = Error; detail code = E114505)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、DHCPサービスが停止していないか確認してください。DHCPサービスを起動して、再実行してください。

対処例18

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 53; task item set name = Cluster Post Settings; task item name = Rename vSAN Datastore; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報] - [ストレージプール設定] - [ストレージプール名]が既存クラスタのストレージプール名と重複していないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例19

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 328; task item set name = Virtual Network Creation; task item name = Create Port Group on vDS; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報] - [ネットワーク設定] - [vSAN分散仮想スイッチ設定] - [vDS設定情報] - [ポートグループ設定] - [ポートグループ名]が既存クラスタのポートグループ名と重複していないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例20

(Failed to get iRMC user password from ISM: Failed to get attribute u'Password'; url = GET /core/nodes/10101/accounts/1; detail = u'Password'; detail code = E000114)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、以下の手順で対象サーバの通信方法を設定して、再実行してください。

1. ノードリストから、対象サーバのノード名を選択します。
ノードの詳細画面が表示されます。
2. [アクション]ボタンから[編集]を選択します。
「編集」画面が表示されます。
3. [通信方法]を設定し、[適用]ボタンを選択します。

対処例21(ISM 2.3.0.b以降)

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 15; task item set name = Cluster Creation; task item name = Creating Cluster; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[CMS]タブ-[IPv4アドレス]に誤りがないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例22(ISM 2.3.0.b以降)

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Creation; id = 25; task item set name = Sync Sub Tasks; task item name = Sync Sub Tasks; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバのプロファイルの[OS個別情報]-[コンピュータ名]が新規クラスタを構成する他のサーバのコンピュータ名と重複していないか確認してください。確認の結果、重複していた場合、以下の対処をして、再実行してください。

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの場合の対処例です。

ADサーバの対処方法は、以下のとおりです。

1. ADにAdministrator権限を持ったドメインユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. ActiveDirectoryユーザーとコンピューターを起動し、[<ドメイン名>]-[Computers]を選択します。
3. [誤って指定しているコンピュータ名]を削除します。

DNSサーバでホストレコードの再登録を行います。本手順はADがDNSサーバの機能を持っている場合(PRIMEFLEX構成のADVM)の対処方法になります。

1. ADにAdministrator権限を持ったドメインユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. DNSマネージャーを起動し、[<ADサーバ名>]-[前方参照ゾーン]-[<ドメイン名>]を選択します。
3. [データ]列のIPアドレスと[名前]列を確認します。
4. [誤って指定しているコンピュータ名]を選択し、上部メニューから[操作]-[削除]を選択します。
5. 確認画面で[はい]を選択します。
6. 上部メニューから[操作]-[新しいホスト(AまたはAAAA)...]を選択します。
7. [誤って指定しているコンピュータ名]の正しいノード情報を入力します。
8. [関連付けられたポインター(PTR)レコードを作成する]にチェックを付け、[ホストの追加]を選択します。
9. 確認画面で[OK]を選択し、新しいホスト画面で[完了]を選択します。

新規クラスタを構成するサーバでコンピュータ名の変更を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. [誤って指定しているコンピュータ名]のサーバにAdministrator権限を持ったローカルユーザーでリモートデスクトップにアクセスします。
2. 左下のWindowsアイコンを右クリックし、システムを起動します。
3. [コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定]から[設定の変更]を選択し、[システムのプロパティ]のコンピューター名タブで[変更]を選択します。
4. [所属するグループ]をワークグループにチェックを付けて、設定します。
5. [コンピューター名]に正しい名前を入れて、[OK]を選択します。
6. [コンピューター名/ドメイン名の変更]でコンピュータ名を変更できるアクセス許可を持つアカウントのユーザーとパスワード名を入力します。
7. サーバを再起動します。
8. [誤って指定しているコンピュータ名]だけでなく、重複しているコンピュータ名すべてのサーバに対して、手順1~7を繰り返します。

新規クラスタを構成するサーバで証明書の登録を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. [誤って指定しているコンピュータ名]のサーバにAdministrator権限を持ったローカルユーザーでリモートデスクトップにアクセスします。
2. [誤って指定しているコンピュータ名]のWinRMリスナーを削除します。

コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

```
>Winrm delete winrm/config/listener?Address=**Transport=HTTPS
```

3. mmc.exeを実行します。
4. 『操作手順書』の「6.6.1.1.2 WinRMサービスを設定する」の「(4) 証明書、サービス証明書の登録」を参照し、ADVM#1をサーバに読み替えて[コンソールルート]-[証明書(ローカルコンピューター)]-[個人]に登録されている誤って指定しているコンピューター名の証明書を削除します。
5. [コンソールルート]-[証明書(ローカルコンピューター)]-[信頼されたルート証明機関]に登録されている誤って指定しているコンピューター名の証明書を削除します。
6. 『操作手順書』の「6.6.1.1.2 WinRMサービスを設定する」の「(2) https通信の設定」、「(3) 証明書の作成」の手順を参照し、ADVM#1をサーバに読み替えて正しいコンピュータ名の証明書、サービス証明書を作成します。正しいコンピュータ名の証明書が作成されている場合は、証明書の作成は不要です。以下の手順7で証明書を登録してください。
7. 『操作手順書』の「6.6.1.1.2 WinRMサービスを設定する」の「(4) 証明書、サービス証明書の登録」、「(5) SSL証明書を登録」、「(6) WinRMサービスへの証明書に記載された拇印を登録」の手順を参照し、ADVM#1をサーバに読み替えて正しいコンピュータ名の証明書、サービス証明書を登録します。

新規クラスタを構成するサーバでのドメインの再参加を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. [誤って指定しているコンピュータ名]のサーバにAdministrator権限を持ったローカルユーザーでリモートデスクトップにアクセスします。
2. 左下のWindowsアイコンを右クリックし、システムを起動します。
3. [コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定]から[設定の変更]を選択し、[システムのプロパティ]のコンピューター名タブで[変更]を選択します。
4. [所属するグループ]をドメインにチェックを付けて設定します。
5. サーバを再起動します。
6. [誤って指定しているコンピュータ名]だけでなく、重複しているコンピュータ名すべてのサーバに対して、手順1～5を繰り返します。

ADサーバでActive DirectoryへのSPNを確認します。確認方法は、以下のとおりです。

1. ADにAdministrator権限を持ったドメインユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行し、[誤って指定しているコンピュータ名]のサーバと重複しているコンピュータ名すべてのサーバのサービスプリンシパル名を確認してください。

```
>setspn -L <コンピュータ名>
```

ISM-VAでノード情報取得を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. ISMにAdministrator権限を持ったユーザーでログインします。
2. [管理]-[ノード]-[<誤って指定しているコンピュータ名のノード>]-[OS]を選択します。
3. [アクション]ボタンから[ノード情報取得]を選択します。
4. 数分待ってからISM GUIの画面更新(画面右上の更新ボタンを選択)をし、ノード名が正しく取得できていることを確認します。

対処例23

PRIMEFLEX for VMware vSAN V1の場合、vSphere Web ClientでvCSAにログインして、[トップ画面]-[ホーム]タブ-[インベントリ]-[ホストおよびクラスタ]の[<クラスタ名>]-[設定]-[フォールトドメインおよびストレッチクラスタ]-[フォールトドメイン]で新規クラスタを構成するサーバのフォールトドメインホストを確認します。

1つのフォールトドメインに複数のホストが設定されている場合、新規クラスタを構成するサーバのプロファイルの[OS個別情報]-[ネットワーク]-[DHCP]-[コンピュータ名をDNSサーバから取得]-[コンピュータ名]が既存クラスタ、または新規クラスタを構成する他のサーバのコンピュータ名と重複していないか確認してください。確認の結果、重複している場合、以下の対処をしてください。

新規クラスタを構成するサーバでコンピュータ名の変更を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. iRMCのビデオリダイレクションを使用して、[誤って指定しているコンピュータ名]のサーバにアクセスします。
2. [F2]キーを押し、Administrator権限を持ったユーザーでログインします。
3. [Configure Management Network]-[DNS Configuration]を選択し、[Hostname]に正しいコンピュータ名を入力して[Enter]キーを押します。

4. [Esc]キーを押して、表示される画面で[Y]キーを押します。
5. [Esc]キーを押して、画面に表示されている[Hostname]を確認します。

vCSAでローカルデータストア名の変更とフォールトドメインの変更を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. vSphere Web ClientでvCSAにログインします。
2. [トップ画面]-[ホーム]タブ-[ストレージ]で[誤って指定しているコンピュータ名]のホストのローカルデータストアを選択します。
3. [アクション]-[名前の変更]を選択し、正しいローカルデータストア名を入力して、[OK]ボタンを選択します。
4. [トップ画面]-[ホーム]タブ-[インベントリ]-[ホストおよびクラスタ]の[<クラスタ名>]-[設定]-[フォールトドメインおよびストレッチクラスタ]-[フォールトドメイン]で[+]マークを選択します。
5. 「新フォールトドメイン」画面が表示されます。
6. [名前]に「fd_<ホスト名>」を入力します。
7. [表示]を[すべてのホスト]に設定し、対象ノードを選択して「OK」を選択します。

新規クラスタを構成するサーバでのドメインの再参加を行います。対処方法は、以下のとおりです。

PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したAD連携を行わない構成時は対処不要です。

1. Host Clientで[誤って指定しているコンピュータ名]のサーバにAdministrator権限を持ったユーザーでログインします。
2. [管理]-[セキュリティとユーザー]-[認証]を選択し、[ドメインへの参加の解除]を選択します。
3. 確認画面で[はい]を選択します。
4. [ドメインに参加]を選択します。
5. ドメインに参加画面が表示されます。ドメイン情報を入力して、[ドメインに参加]ボタンを選択します。
6. 画面が更新されドメインに参加できたことを確認します。

ADサーバの対処方法は、以下のとおりです。

PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したAD連携を行わない構成時は対処不要です。

1. ADにAdministrator権限を持ったドメインユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. ActiveDirectoryユーザーとコンピューターを起動し、[<ドメイン名>]-[Computers]を選択します。
3. 対象ノードがドメイン参加したことを確認します。

DNSサーバでホストレコードの再登録を行います。本手順はADがDNSサーバの機能を持っている場合 (PRIMEFLEX構成のADVM) の対処方法になります。

1. ADにAdministrator権限を持ったドメインユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. DNSマネージャーを起動し、[<ADサーバ名>]-[前方参照ゾーン]-[<ドメイン名>]を選択します。
3. [データ]列のIPアドレスと[名前]列を確認します。
4. [誤って指定しているコンピュータ名]を選択し、上部メニューから[操作]-[削除]を選択します。
5. 確認画面で[はい]を選択します。
6. 上部メニューから[操作]-[新しいホスト(AまたはAAAA)...]を選択します。
7. [誤って指定しているコンピュータ名]の正しいノード情報を入力します。
8. [関連付けられたポインター(PTR)レコードを作成する]にチェックを付け、[ホストの追加]を選択します。
9. 確認画面で[OK]を選択し、新しいホスト画面で[完了]を選択します。

ISM-VAでノード情報取得を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. ISMにAdministrator権限を持ったユーザーでログインします。
2. [管理]-[ノード]-[<誤って指定しているコンピュータ名のノード>]-[OS]を選択します。
3. [アクション]ボタンから[ノード情報取得]を選択します。

4. しばらく待ってからISM GUIの画面更新(画面右上の更新ボタンを選択)をし、ノード名が正しく取得できていることを確認します。

第3章 クラスタ拡張機能のメッセージ

クラスタ拡張機能から出力されるメッセージについて説明します。

メッセージの出力

クラスタ拡張に関するメッセージは、ISMのイベントログとして出力されます。

イベントログは、ISMのGUIでグローバルナビゲーションメニューから[イベント]-[イベント]を選択して参照できます。

メッセージ体系

クラスタ拡張に関するメッセージの体系は以下のとおりです。

%X%Y%ZZ%WWWW

%X: 重要度

%Y: "0"固定

%ZZ: クラスタ拡張機能の識別番号

%WWWW: メッセージ発生元

- 重要度

メッセージID (上位1桁)	重要度	説明
1	Info	通常の情報通知です。対処は不要です。
3	Warning	警告の通知です。必要に応じて対処が必要です。
5	Error	異常の通知です。対処が必要です。

- クラスタ拡張機能の識別番号

クラスタ拡張機能に割り当てられている固定の識別番号であり、「21」です。

- メッセージ発生元

メッセージを発生させた箇所を表す番号(上2桁)と、メッセージ別に割り当てられる番号(下2桁)で構成されます。

メッセージIDとメッセージ発生元の関係は以下のとおりです。

メッセージID (下位4桁)	メッセージ発生元	説明
00xx	クラスタ拡張とクラスタ作成のサービス	クラスタ拡張とクラスタ作成のサービスに関するメッセージです。
01xx	パラメーターの種類一覧出力	パラメーターの種類一覧出力に関するメッセージです。
02xx	パラメーターの作成	パラメーターの作成に関するメッセージです。
03xx	パラメーターの一覧出力	パラメーターの一覧出力に関するメッセージです。
04xx	パラメーターの個別出力	パラメーターの個別出力に関するメッセージです。
05xx	パラメーターの更新	パラメーターの更新に関するメッセージです。
06xx	パラメーターの削除	パラメーターの削除に関するメッセージです。ISM 2.3.0.b以降で出力されるメッセージです。
12xx	クラスタ拡張の実行	クラスタ拡張の実行に関するメッセージです。
13xx	クラスタ拡張の実行の中止	クラスタ拡張の実行の中止に関するメッセージです。
15xx	不要パラメーターの削除	不要パラメーターの削除に関するメッセージです。

メッセージID (下位4桁)	メッセージ発生元	説明
25xx	パラメーターのインポート	パラメーターのインポートに関するメッセージです。ISM 2.3.0.b以降で出力されるメッセージです。
26xx	パラメーターのエクスポート	パラメーターのエクスポートに関するメッセージです。ISM 2.3.0.b以降で出力されるメッセージです。
51xx	クラスタ拡張	クラスタ拡張に関するメッセージです。

注意

- クラスタ拡張機能の実行時にエラーが発生した場合、クラスタ拡張機能を再実行してください。対処欄に対処方法が記載されているものは対処を行ってください。再実行しても問題が解決しない場合は、保守資料を採取して当社技術員に連絡してください。
 - プロファイル適用によるOSインストールが完了している場合は、クラスタ拡張時に追加するサーバの電源がオンになっていることを確認してからクラスタ拡張機能を再実行してください。
 - クラスタ拡張時に追加するサーバがメンテナンスモードになっている場合は、以下の手順でメンテナンスモードを終了してからクラスタ拡張機能を再実行してください。
 1. vSphere Web ClientでvCSAにログインします。
 2. ホーム画面で[ホーム]-[ホストおよびクラスタ]の[<クラスタ名>]-[<ホスト名>]を選択後、右クリックして[メンテナンスモード]-[メンテナンスモードの終了]を選択します。
- 対処欄に記載された対処方法で対処できない場合は、保守資料を採取して当社技術員に連絡してください。
- 保守資料の採取方法については、『ユーザーズマニュアル』の「4.5.2 ISM for PRIMEFLEXの保守資料」を参照してください。

3.1 クラスタ拡張とクラスタ作成のサービスに関するメッセージ

10210001: ClusterOperationサービスの起動を開始しました。

重要度

Info

対処

不要です。

10210002: ClusterOperationサービスの起動が完了しました。

重要度

Info

対処

不要です。

10210003: ClusterOperationサービスの停止を開始しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50210001: ClusterOperationサービスの起動に失敗しました。

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。その後、再実行してください。改善しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

3.2 パラメーターの種類一覧出力時のメッセージ

10210101: パラメーターの種類一覧出力に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50210101: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50210102: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50210103: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50210104: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210105: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210106: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50210107: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50210108: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50210111: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50210112: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50210113: パラメーターの種類一覧出力に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.3 パラメーターの作成時のメッセージ

10210201: パラメーターの作成に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50210201: パラメーターの作成に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50210202: パラメーターの作成に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50210203: パラメーターの作成に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50210204: パラメーターの作成に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210205: パラメーターの作成に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210206: パラメーターの作成に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50210207: パラメーターの作成に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50210208: パラメーターの作成に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50210211: パラメーターの作成に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50210212: パラメーターの作成に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50210213: パラメーターの作成に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.4 パラメーターの一覧出力時のメッセージ

10210301: パラメーターの一覧出力に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50210301: パラメーターの一覧出力に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50210302: パラメーターの一覧出力に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50210303: パラメーターの一覧出力に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50210304: パラメーターの一覧出力に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210305: パラメーターの一覧出力に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210306: パラメーターの一覧出力に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50210307: パラメーターの一覧出力に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50210308: パラメーターの一覧出力に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50210311: パラメーターの一覧出力に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50210312: パラメーターの一覧出力に失敗しました。クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50210313: パラメーターの一覧出力に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.5 パラメーターの個別出力時のメッセージ

10210401: パラメーターの個別出力に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50210401: パラメーターの個別出力に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50210402: パラメーターの個別出力に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50210403: パラメーターの個別出力に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50210404: パラメーターの個別出力に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210405: パラメーターの個別出力に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210406: パラメーターの個別出力に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50210407: パラメーターの個別出力に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50210408: パラメーターの個別出力に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)**重要度**

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50210411: パラメーターの個別出力に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)**重要度**

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50210412: パラメーターの個別出力に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)**重要度**

Error

対処

クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50210413: パラメーターの個別出力に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)**重要度**

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.6 パラメーターの更新時のメッセージ

10210501: パラメーターの更新に成功しました。**重要度**

Info

対処

不要です。

50210501: パラメーターの更新に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)**重要度**

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50210502: パラメーターの更新に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)**重要度**

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50210503: パラメーターの更新に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50210504: パラメーターの更新に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210505: パラメーターの更新に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210506: パラメーターの更新に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50210507: パラメーターの更新に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50210508: パラメーターの更新に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50210511: パラメーターの更新に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50210512: パラメーターの更新に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50210513: パラメーターの更新に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.7 パラメーターの削除時のメッセージ(ISM 2.3.0.b以降)

10210601: パラメーターの削除に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50210601: パラメーターの削除に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50210602: パラメーターの削除に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50210603: パラメーターの削除に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50210604: パラメーターの削除に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210605: パラメーターの削除に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50210606: パラメーターの削除に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50210607: パラメーターの削除に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50210608: パラメーターの削除に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50210611: パラメーターの削除に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50210612: パラメーターの削除に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50210613: パラメーターの削除に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.8 クラスタ拡張の実行時のメッセージ

10211201: クラスタ拡張の実行に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50211201: クラスタ拡張の実行に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50211202: クラスタ拡張の実行に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50211203: クラスタ拡張の実行に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50211204: クラスタ拡張の実行に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211205: クラスタ拡張の実行に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211206: クラスタ拡張の実行に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50211207: クラスタ拡張の実行に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50211208: クラスタ拡張の実行に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50211209: クラスタ拡張の実行に失敗しました。設定処理に失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定およびパラメーターの設定値を確認のうえ、再実行してください。

50211210: クラスタ拡張の実行に失敗しました。検証処理に失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「3.3 PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1／PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」
 - 「3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」
- クラスタ拡張の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.8.1 事前準備」
 - 「6.9.1 事前準備」
- クラスタ拡張の動作要件を確認してください。
詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.8.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
 - 「6.9.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
- Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.9.2.2 クラスタ拡張手順」の手順9～21を参照してください。

50211211: クラスタ拡張の実行に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「3.3 PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1／PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」
 - 「3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」
- クラスタ拡張の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.8.1 事前準備」
 - 「6.9.1 事前準備」
- クラスタ拡張の動作要件を確認してください。
詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.8.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
 - 「6.9.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
- Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.9.2.2 クラスタ拡張手順」の手順9～21を参照してください。

50211212: クラスタ拡張の実行に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50211213: クラスタ拡張の実行に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

対処例については、「3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例」を参照してください。

3.9 クラスタ拡張の実行の中止時のメッセージ

10211301: クラスタ拡張の実行の中止に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50211301: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50211302: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50211303: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50211304: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211305: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50211306: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50211307: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50211308: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50211311: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- ・ クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「3.3 PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1/PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」

- 「3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」
- クラスタ拡張の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.8.1 事前準備」
 - 「6.9.1 事前準備」
- クラスタ拡張の動作要件を確認してください。
詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - 「6.8.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
 - 「6.9.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
- Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.9.2.2 クラスタ拡張手順」の手順9～21を参照してください。

50211312: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50211313: クラスタ拡張の実行の中止に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

対処例については、「3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例」を参照してください。

3.10 不要パラメーターの削除時のメッセージ

10211501: 不要パラメーターの削除に成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50211503: 不要パラメーターの削除に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

50211504: 不要パラメーターの削除に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

50211505: 不要パラメーターの削除に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

50211506: 不要パラメーターの削除に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

50211507: 不要パラメーターの削除に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

50211508: 不要パラメーターの削除に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50211511: 不要パラメーターの削除に失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

50211512: 不要パラメーターの削除に失敗しました。クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張／クラスタ作成実行状態を確認のうえ、仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

50211513: 不要パラメーターの削除に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、仮想化基盤の情報を更新してください。詳細は、『ユーザーズマニュアル』の「2.12.1.3 クラスタ情報の取得および情報更新」を参照してください。

3.11 パラメーターのインポート時のメッセージ(ISM 2.3.0.b 以降)

10212501: パラメーターのインポートに成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50212501: パラメーターのインポートに失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50212502: パラメーターのインポートに失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50212503: パラメーターのインポートに失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50212504: パラメーターのインポートに失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50212505: パラメーターのインポートに失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50212506: パラメーターのインポートに失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50212507: パラメーターのインポートに失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50212508: パラメーターのインポートに失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50212511: パラメーターのインポートに失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50212512: パラメーターのインポートに失敗しました。クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50212513: パラメーターのインポートに失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.12 パラメーターのエクスポート時のメッセージ(ISM 2.3.0.b 以降)

10212601: パラメーターのエクスポートに成功しました。

重要度

Info

対処

不要です。

50212601: パラメーターのエクスポートに失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50212602: パラメーターのエクスポートに失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50212603: パラメーターのエクスポートに失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50212604: パラメーターのエクスポートに失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50212605: パラメーターのエクスポートに失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50212606: パラメーターのエクスポートに失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50212607: パラメーターのエクスポートに失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、パラメーターの指定内容を確認してください。

50212608: パラメーターのエクスポートに失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50212611: パラメーターのエクスポートに失敗しました。環境設定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

環境設定を確認のうえ、再実行してください。

50212612: パラメーターのエクスポートに失敗しました。クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態が要求を処理できる状態ではありません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

クラスタ拡張/クラスタ作成実行状態を確認のうえ、再実行してください。

50212613: パラメーターのエクスポートに失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

3.13 クラスタ拡張時のメッセージ

10215101: クラスタ拡張に成功しました。(詳細情報)

重要度

Info

対処

不要です。

10215102: クラスタ拡張をキャンセルしました。

重要度

Info

対処

不要です。

50215101: クラスタ拡張に失敗しました。入力パラメーターが指定されていません。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを指定して再実行してください。

50215102: クラスタ拡張に失敗しました。入力パラメーターの指定に誤りがあります。(詳細情報)

重要度

Error

対処

入力パラメーターを正しく指定して再実行してください。

50215103: クラスタ拡張に失敗しました。権限のない操作です。(詳細情報)

重要度

Error

対処

権限を有するユーザーで再実行してください。

50215104: クラスタ拡張に失敗しました。指定されたリソースは存在しないか、既に削除されています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50215105: クラスタ拡張に失敗しました。指定されたリソースは既に存在しています。(詳細情報)

重要度

Error

対処

リソースの状態を確認のうえ、再実行してください。

50215106: クラスタ拡張に失敗しました。他の処理が実行中のため処理が実行できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

時間をおいて、再実行してください。

50215107: クラスタ拡張に失敗しました。サービスに接続できませんでした。(詳細情報)

重要度

Error

対処

接続先の状態を確認してください。

接続情報(ドメイン名、IPアドレス、アカウント名、パスワード)を確認してください。

CMSおよび対象サーバ(iRMC、OS)の接続情報については、ISMの登録内容を確認してください。

DNSサーバの接続情報については、クラスタ定義パラメーターの指定内容を確認してください。

50215108: クラスタ拡張に失敗しました。データベースアクセスに失敗しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

ISM-VAを再起動してください。再起動しても改善されない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

50215109: クラスタ拡張に失敗しました。クラスタ拡張タスクの設定処理でエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「[3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例](#)」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - 「[3.3 PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1 / PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧\(クラスタ拡張機能\)](#)」
 - 「[3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧\(クラスタ拡張機能\)](#)」
- クラスタ拡張の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『[操作手順書](#)』の以下箇所を参照してください。
 - 「[6.8.1 事前準備](#)」
 - 「[6.9.1 事前準備](#)」

- ・ クラスタ拡張の動作要件を確認してください。
詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - － 「6.8.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
 - － 「6.9.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
- ・ Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.9.2.2 クラスタ拡張手順」の手順9～21を参照してください。

50215110: クラスタ拡張に失敗しました。クラスタ拡張タスクの検証処理でエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例については、「3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例」を参照してください。対処例で問題が解決しない場合は以下を確認してください。

- ・ クラスタ定義パラメーターの設定値に誤りがないか確認してください。
クラスタ定義パラメーターの詳細については、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』の以下箇所を参照してください。
 - － 「3.3 PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1/PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」
 - － 「3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版クラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)」
- ・ クラスタ拡張の事前準備に不足や誤りがないか確認してください。
事前準備の詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - － 「6.8.1 事前準備」
 - － 「6.9.1 事前準備」
- ・ クラスタ拡張の動作要件を確認してください。
詳細については、『操作手順書』の以下箇所を参照してください。
 - － 「6.8.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
 - － 「6.9.2.1 クラスタ拡張の動作要件」
- ・ Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。
ライセンス条項の承諾の詳細については、『操作手順書』の「6.9.2.2 クラスタ拡張手順」の手順9～21を参照してください。

50215113: クラスタ拡張に失敗しました。システムエラーが発生しました。(詳細情報)

重要度

Error

対処

システムの状態を確認のうえ、再実行してください。

対処例については、「3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例」を参照してください。

3.14 クラスタ拡張エラー時の対処例

クラスタ拡張の実行時にエラーが発生した場合の対処例について説明します。

以下の対処をして、再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

対処例1

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 21; task item set name = OS Settings; task item name = Joining ESXi Host to Domain; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[LDAP情報]-[パスワード]に誤りがないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例2

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 14; task item set name = Cluster Settings; task item name = Create vmk On vDS; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、WinRMサービスが起動されているか確認してください。WinRMサービスを起動して、再実行してください。

対処例3

```
(The application of profile to node retried out; node name = esxi4; result = Error; detail code = E114505)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ拡張時に追加するサーバの管理LANケーブルが抜けていないか確認してください。LANケーブルを接続して、再実行してください。

PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1/PRIMEFLEX for VMware vSAN V1で上記の対処が該当しない場合は、プロファイルの[OS]-[管理LANネットワークポート設定]-[ネットワークポート指定]の指定方法がMACアドレスに設定されているか確認してください。プロファイルを修正して、再実行してください。

対処例4

```
(Failed to check configuration space check using the IPMI command; command = [u' 80', u' 28', u' 00']; detail code = E000705)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMC管理LANケーブルが抜けていないか確認してください。LANケーブルを接続して、再実行してください。

対処例5

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 16; task item set name = DNS Settings; task item name = Addition of a DNS host record; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、WinRMリスナーが登録されているか、またはWinRMリスナーで設定したポートが解放されているか確認してください。WinRMリスナーを登録、またはWinRMリスナーで設定したポートを解放して、再実行してください。

WinRMリスナーの登録およびWinRMリスナーで設定したポートの解放は、以下の方法で確認できます。

- SSL暗号化通信で設定を行う場合は、『操作手順書』の「6.8.1.1 ADVMの証明書を作成する」の手順を参照してください。
- SSL暗号化通信せずに設定を行う場合は、以下のBasic認証の設定がされていることを確認してください。

(1)WinRMサービスの起動確認

『操作手順書』の「6.8.1.1.1 WinRMサービスの起動を確認する」を参照してください。

(2)WinRMサービスの設定確認

『操作手順書』の「6.8.1.1.2 WinRMサービスを設定する」-「(1) WinRMサービスの設定」を参照してください。

(3)WinRMリスナーの登録確認

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。

```
winrm get winrm/config/listener?Address=*&Transport=HTTP
```

以下のようなコマンド結果が返ってくれば、WinRMのリスナーが登録できています。

```
Listener
  Address = *
  Transport = HTTP
  Port = 5985
  Hostname
```



```
Enabled = true
URLPrefix = wsman
CertificateThumbprint
ListeningOn = 127.0.0.1, 192.168.111.201, ::1
```

WinRMのリスナーが登録できていない場合、コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行し、WinRMのリスナーを登録します。

```
winrm create winrm/config/listener?Address=**Transport=HTTP
```

(4)ファイアウォールのポート開放

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。

```
Show-NetFirewallRule | ?{$_ .LocalPort -match 5985}
```

以下のようなコマンド結果が返ってくれば、ファイアウォールのポート開放ができています。

```
$_ | Get-NetFirewallPortFilter
Protocol           : TCP
LocalPort          : 5985
RemotePort         : Any
IcmpType           : Any
DynamicTarget      : Any

$_ | Get-NetFirewallPortFilter
Protocol           : TCP
LocalPort          : 5985
RemotePort         : Any
IcmpType           : Any
DynamicTarget      : Any
```

ファイアウォールのポート開放ができていない場合、コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行し、ファイアウォールのポートを開放します。

```
New-NetFirewallRule -DisplayName WinRM -Action Allow -Direction Inbound -Enabled True -Protocol TCP -LocalPort 5985
```

対処例6

```
(The task type setting process retried out: task type = Cluster Expansion: id = 14: task item set name = OS Settings:
task item name = Wait Hyperv OS Boot: detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、Windows OSのライセンス条項に承諾されているか確認してください。ライセンス条項に承諾して、『操作手順書』の「6.9.2.2 クラスタ拡張手順」を参照して、再実行してください。

ISM 2.3.0.b以降で出力される詳細情報です。

対処例7

```
(The task type setting process retried out: task type = Cluster Expansion: id = 11: task item set name = OS Installation:
task item name = Wait Hyperv OS Boot: detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、以下の対処をして、再実行してください。

証明書が格納されているかどうかの確認方法は、以下のとおりです。

1. クラスタ拡張時に追加するサーバにAdministrator権限ユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. エクスプローラーを開いて、以下のディレクトリに証明書(*.cer、*.pfx)が格納されているか確認します。

C:\%PostInstall%\UserApplication\postscript_ClusterOperation

3. 証明書が格納されていない場合、以下の手順で証明書を格納してください。
4. クラスタ拡張時に追加するサーバにリモートデスクトップ接続します。
5. エクスプローラーを開いて、以下のディレクトリに証明書(*.cer、*.pfx)を格納します。

C:\%PostInstall%\UserApplication\postscript_ClusterOperation

- 以下のディレクトリを削除します。

```
C:¥FISCRB¥Log
```

- 証明書が格納されている場合、以下の確認を実施してください。
- クラスタ拡張時に追加するサーバにリモートデスクトップ接続します。
- エクスプローラーを開いて、以下のディレクトリが作成されているか確認します。

```
C:¥FISCRB
```

- C:¥FISCRBディレクトリが作成されている場合、以降の[OSインストール後のスクリプト]の実行は不要です。クラスタ拡張を再実行してください。

証明書の格納を確認後、[OSインストール後のスクリプト]を実行します。

- クラスタ拡張時に追加するサーバにリモートデスクトップ接続します。
- 以下のバッチファイルを右クリックして[管理者として実行]を選択し、実行します。

```
C:¥PostInstall¥UserApplication¥postscript_ClusterOperation¥WinSvr_Setting.bat
```

- 以下のファイルを開き、最後の行が「1 File(s) copied」であることを確認します。

```
C:¥FISCRB¥Log¥post_script.log
```

- 作業で開いたファイルおよびディレクトリをすべて閉じます。

対処例8

```
(Failed to apply file; before = 500.04.V0.61-0007; after = None; detail code = E116319)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、以下を確認してください。

- VMware SMIS Providerファイルを解凍している

例: VMware SMIS Providerファイル (VMW-ESX-5.5.0-Isiprovider-500.04.V0.63-0005-offline_bundle-5240997.zip) を解凍した場合のファイル

- vmware-esx-provider-Isiprovider.vib
- VMware_MR_SAS_Providers-00.63.V0.05.txt
- README.txt

- VMware SMIS Providerファイルを複数アップロードしている

該当する場合は、以下の手順で不要なファイルを削除し、正しいファイルをアップロードして再実行してください。

不要なファイルの削除方法は、以下のとおりです。

- クラスタ拡張時に追加するサーバ (ESXi) にSSH接続します。
- 以下のコマンドを実行します。

```
cd /vmfs/volumes/datastore1
```

- 以下のコマンドを実行して、不要なファイルを削除します。

```
rm <不要なファイル名>
```

例: VMware SMIS Providerファイルのオフラインバンドルを解凍した場合

```
rm vmware-esx-provider-Isiprovider.vib
rm VMware_MR_SAS_Providers-00.63.V0.05.txt
rm README.txt
```

4. 適用ファイルをアップロードします。

適用ファイルのアップロードについては、『操作手順書』の「6.8.1.6 VMware SMIS Providerをアップロードする」を参照してください。

対処例9

```
(Failed to connect to the SSH command target; host = 192.168.110.105; user = root; port = 22; detail = [Errno 113] No route to host; detail code = E000802)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ拡張時に追加するサーバの電源がオンか確認してください。クラスタ拡張時に追加するサーバの電源をオンにして、再実行してください。

対処例10

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 20; task item set name = Cluster Settings; task item name = Add Port On Host To vDS Single Port; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[vDS]-[vDS]-[物理NIC]-[vmnic名]に誤りがないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例11

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 21; task item set name = Cluster Settings; task item name = Create vmk On vDS; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、お客様環境のvDS「vSwitch1」にポートグループ「vSAN Network」が存在するか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

対処例12

```
(Failed to connect to the SSH command target; host = 192.168.190.107; user = root; port = 22; detail = [Errno 111] Connection refused; detail code = E000802)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバにリモートデスクトップ接続し、SSHサービスが起動されているか確認してください。SSHサービスを起動して、再実行してください。

SSHサービスの確認方法は、以下のとおりです。

1. 新規クラスタを構成するサーバのOSにWebブラウザでアクセスします。
2. [管理]-[サービス]で以下のサービスの[ステータス]が「起動」であることを確認します。

名前:TSM

名前:TSM-SSH

SSHサービスの起動方法は、以下のとおりです。

1. 以下のサービスを選択し、[アクション]-[ポリシー]-[ホストと連動して起動および停止]を実行します。

名前:TSM

名前:TSM-SSH

対処例13

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 22; task item set name = Cluster Settings; task item name = Add Host To Cluster; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、仮想リソース管理機能の事前設定を確認してください。事前設定をして、再実行してください。

仮想リソース管理機能の事前設定については、『ユーザーズマニュアル』の「3.8 仮想リソース管理機能の事前設定」を参照してください。

対処例14

```
(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 25; task item set name = Cluster Settings; task item name = Create Vm Switch; detail code = E010205)
```

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ拡張時に追加するサーバのプロファイルのドメインユーザー名/ドメインパスワードを誤って指定している可能性があります。プロファイルの設定が正しいか確認してください。

対処例15

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 15; task item set name = Cluster Settings; task item name = Add Host To Datacenter; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]-[vSAN分散仮想スイッチ設定]-[vDS-1およびvDS-2]-[ポートグループ]-[IPv4ネットワークアドレス]に誤りがないか確認してください。クラスタ定義パラメーターを修正して、再実行してください。

VMkernelアダプタが作成されている場合は、以下の手順でVMkernelアダプタを削除してから再実行してください。

1. vSphere Web ClientでvCSAにログインします。
2. [トップ画面]-[ホーム]タブ-[インベントリ]-「ホストおよびクラスタ」の[<クラスタ名>]-[<ホスト名>]-[設定]-[ネットワーク]-[VMkernelアダプタ]を選択します。
3. IPアドレスを確認して、誤って指定しているIPアドレスのVMkernelアダプタを選択し、[選択したネットワークアダプタを削除します]を選択します。
4. 「VMkernel アダプタの削除」画面で削除するVMkernelアダプタを確認して、[OK]ボタンを選択します。

タスクが完了するとVMkernel アダプタの削除が完了します。

対処例16

(The task type setting process retried out; task type = Cluster Expansion; id = 15; task item set name = OS Installation; task item name = OS Version; detail code = E010205)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、新規クラスタを構成するサーバがハングアップしていないか確認してください。新規クラスタを構成するサーバを再起動して、再実行してください。iRMC Web Serverで[電源]ボタンを選択して[パワーサイクル]を選択することで、サーバを再起動できます。

対処例17

(The application of profile to node retried out; node name = hv-host5; result = Error; detail code = E114505)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、DHCPサービスが停止していないか確認してください。DHCPサービスを起動して、再実行してください。

対処例18

(Failed to get iRMC user password from ISM; Failed to get attribute u'Password'; url = GET /core/nodes/10101/accounts/1; detail = u'Password'; detail code = E000114)

(詳細情報)に上記の内容が含まれている場合、以下の手順で対象サーバの通信方法を設定して、再実行してください。

1. ノードリストから、対象サーバのノード名を選択します。
ノードの詳細画面が表示されます。
2. [アクション]ボタンから[編集]を選択します。
「編集」画面が表示されます。
3. [通信方法]を設定し、[適用]ボタンを選択します。

対処例19

PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1/PRIMEFLEX for VMware vSAN V1の場合、vSphere Web ClientでvCSAにログインして、[トップ画面]-[ホーム]タブ-[インベントリ]-[ホストおよびクラスタ]の[<クラスタ名>]-[設定]-[フォールトドメインおよびストレッチクラスタ]-[フォールトドメイン]でクラスタ拡張時に追加するサーバのフォールトドメインホストを確認します。

1つのフォールトドメインに複数のホストが設定されている場合、クラスタ拡張時に追加するサーバのプロファイルの[OS個別情報]-[ネットワーク]-[DHCP]-[コンピュータ名をDNSサーバから取得]-[コンピュータ名]が既存クラスタ、または新規クラスタを構成する他のサーバのコンピュータ名と重複していないか確認してください。確認の結果、重複している場合、以下の対処をしてください。

クラスタ拡張時に追加するサーバでコンピュータ名の変更を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. iRMCのビデオリダイレクションを使用して、[誤って指定しているコンピュータ名]のサーバにアクセスします。
2. [F2]キーを押し、Administrator権限を持ったユーザーでログインします。
3. [Configure Management Network]-[DNS Configuration]を選択し、[Hostname]に正しいコンピュータ名を入力して[Enter]キーを押します。
4. [Esc]キーを押して、表示される画面で[Y]キーを押します。
5. [Esc]キーを押して、画面に表示されている[Hostname]を確認します。

vCSAでローカルデータストア名の変更とフォールトドメインの変更を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. vSphere Web ClientでvCSAにログインします。
2. [トップ画面]-[ホーム]タブ-[ストレージ]で[誤って指定しているコンピュータ名]のホストのローカルデータストアを選択します。
3. [アクション]-[名前の変更]を選択し、正しいローカルデータストア名を入力して、[OK]ボタンを選択します。
4. [トップ画面]-[ホーム]タブ-[インベントリ]-[ホストおよびクラスタ]の[<クラスタ名>]-[設定]-[フォールトドメインおよびストレッチクラスタ]-[フォールトドメイン]で[+]マークを選択します。
5. 「新フォールトドメイン」画面が表示されます。
[名前]に「fd_<ホスト名>」を入力します。
6. [表示]を[すべてのホスト]に設定し、対象ノードを選択して「OK」を選択します。

クラスタ拡張時に追加するサーバでのドメインの再参加を行います。対処方法は、以下のとおりです。

PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したAD連携を行わない構成時は対処不要です。

1. Host Clientで[誤って指定しているコンピュータ名]のサーバにAdministrator権限を持ったユーザーでログインします。
2. [管理]-[セキュリティとユーザー]-[認証]を選択し、[ドメインへの参加の解除]を選択します。
3. 確認画面で[はい]を選択します。
4. [ドメインに参加]を選択します。
5. ドメインに参加画面が表示されます。ドメイン情報を入力して、[ドメインに参加]ボタンを選択します。
6. 画面が更新されドメインに参加できたことを確認します。

ADサーバの対処方法は、以下のとおりです。

PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したAD連携を行わない構成時は対処不要です。

1. ADにAdministrator権限を持ったドメインユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. ActiveDirectoryユーザーとコンピューターを起動し、[<ドメイン名>]-[Computers]を選択します。
3. 対象ノードがドメイン参加したことを確認します。

DNSサーバでホストレコードの再登録を行います。本手順はADがDNSサーバの機能を持っている場合 (PRIMEFLEX構成のADVM) の対処方法になります。

1. ADにAdministrator権限を持ったドメインユーザーでリモートデスクトップ接続します。
2. DNSマネージャーを起動し、[<ADサーバ名>]-[前方参照ゾーン]-[<ドメイン名>]を選択します。
3. [データ]列のIPアドレスと[名前]列を確認します。
4. [誤って指定しているコンピュータ名]を選択し、上部メニューから[操作]-[削除]を選択します。
5. 確認画面で[はい]を選択します。
6. 上部メニューから[操作]-[新しいホスト(AまたはAAAA)...]を選択します。
7. [誤って指定しているコンピュータ名]の正しいノード情報を入力します。
8. [関連付けられたポインター(PTR)レコードを作成する]にチェックを付け、[ホストの追加]を選択します。
9. 確認画面で[OK]を選択し、新しいホスト画面で[完了]を選択します。

ISM-VAでノード情報取得を行います。対処方法は、以下のとおりです。

1. ISMにAdministrator権限を持ったユーザーでログインします。
2. [管理]-[ノード]-[<誤って指定しているコンピュータ名のノード>]-[OS]を選択します。
3. [アクション]ボタンから[ノード情報取得]を選択します。
4. しばらく待ってからISM GUIの画面更新(画面右上の更新ボタンを選択)をし、ノード名が正しく取得できていることを確認します。

第4章 ファームウェアローリングアップデート機能のメッセージ

ファームウェアローリングアップデート機能から出力されるメッセージについて説明します。

メッセージの出力

ファームウェアローリングアップデート機能のメッセージは、ISMの「ジョブ」画面に出力されます。



注意

- ファームウェアローリングアップデート機能の実行時にエラーが発生した場合、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。対処欄に対処方法が記載されているものは対処を行ってください。再実行しても問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。
- BIOSのファームウェアローリングアップデート実施中にエラー終了した場合、対象ノードは再起動待ち状態の可能性があります。その状態で、再実行するとエラー終了します。再起動待ち状態かどうかの確認は、iRMCの[BIOS]-[BIOSアップデート]の画面にBIOSファームウェアのアップデートが開始され、アップデート続行のためにシステム再起動が必要である旨のメッセージが表示されているかどうかで確認できます。メッセージが表示されている場合は、手動で再起動を実施してアップデートを完了させてください。
- 保守資料の採取方法については、『ユーザーズマニュアル』の「4.5.2 ISM for PRIMEFLEXの保守資料」を参照してください。

4.1 重要度が「警告」のメッセージ

W110101: clusterName = {クラスタ名} doesn't exist in ISM.

意味

設定ファイルに指定したファームウェアアップデート対象のクラスタ名が存在しません。

対処

ファームウェアアップデート対象のクラスタ名が存在しません。

設定ファイルに指定しているクラスタ名を確認して修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110201: Skipping firmware update since node could not be found; nodeName = {ノード名}

意味

設定ファイルに指定したファームウェアアップデート対象ノードのノード名が存在しません。

対処

ファームウェアアップデート対象ノードのノード名が存在しません。

設定ファイルに指定しているノード名を確認して修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110202: Number of bad nodes = {アップデート不可ノード数}

意味

クラスタ内に異常が発生しているノード数を表示します。

対処

クラスタ内に異常が発生しています。

問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110203: Abnormal node status = {ノードのステータス} node id = {ノードID} node name = {ノード名}**意味**

クラスタ内に異常が発生しているノードの情報を表示します。

対処

クラスタ内に異常が発生しています。

問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110204: Cannot retrieve node status item. (nodeInfo["NodeStatus"])**意味**

クラスタ内に異常が発生しているノードの情報が取得できません。

対処

クラスタ内に異常が発生しています。

問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110205: Node connection status = {ノードの接続状態} node id = {ノードID} node name = {ノード名}**意味**

クラスタ内のノードが接続されていません。また、ノードの接続状態を表示します。

対処

クラスタにノードが接続されていません。

問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110206: Cannot retrieve "Condition" from node information. (nodeInfo["Condition"])**意味**

クラスタ内にノードの接続状態が取得できません。

対処

クラスタにノードが接続されていません。

問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110207: Node name is not correct. Node ID = {ノードID} Node Name = {ノード名}**意味**

クラスタ内にファームウェアアップデート対象ノードのノード名が存在しません。

対処

クラスタ情報にファームウェアアップデート対象ノードのノード名が存在しません。

設定ファイルに指定しているファームウェアアップデート対象ノードのノード名を確認して設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

W110208: Cannot retrieve node name. (nodeInfo["NodeName"])

意味

クラスタ内のファームウェアアップデート対象ノードのノード名が取得できません。

対処

クラスタ情報からファームウェアアップデート対象ノードのノード名が取得できません。

設定ファイルに指定しているファームウェアアップデート対象ノードのノード名を確認して設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

4.2 重要度が「エラー」のメッセージ

E010114: Process terminated because the workflow service on the ISM-VA was restarted during execution.

意味

ISM-VA上のworkflowサービスが再起動したため、処理を中断しました。

対処

サーバの状態を確認して問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E012202: Failed to log in to ISM; exception = {例外}

意味

ISMのログインに失敗しました。

対処

ユーザー名またはパスワードを確認してファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E012414: Could not migrate virtual machine; exception = {例外}

意味

仮想マシンの移動で例外が発生しました。

対処

ネットワーク構成やライセンス、VMware DRSアフィニティルールなどの関係で、他ノードへ移動できない仮想マシンが起動していないか確認してください。

他ノードへ移動できない仮想マシンを実行しているノードは、ファームウェアローリングアップデートを実施する前に仮想マシンを手動で停止させるか、設定ファイルでノード種別 (node_type) を「RebootNo」にしてノードを再起動しない設定にする必要があります。

BIOSのファームウェアローリングアップデート実施中にエラー終了した場合、対象ノードは再起動待ち状態の可能性あります。その状態で、再度ジョブを実行するとエラー終了します。再起動待ち状態かどうかの確認は、iRMCの[BIOS]-[BIOSアップデート]の画面に「BIOSファームウェアのアップデートが開始されました。アップデートを続行するにはシステムの再起動が必要です。」のメッセージが表示されているかどうかで確認できます。メッセージが表示されている場合は、手動で再起動を実施してアップデートを完了させてください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E012425: Failed to migrate from nodeId = {ノードID} to the temporary node. vmname = {VM名}

意味

仮想マシンの移動に失敗しました。

対処

退避ノードを空きサーバにしたうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E012426: Failed to set-maintenancemode nodeId = {ノードID}

意味

メンテナンスモードの設定に失敗しました。

対処

退避ノードを空きサーバにしたうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E012427: Failed to move back VMs to the original node. original nodeId = {ノードID} failed VMs = {VMIDs}

意味

仮想マシンの移動に失敗しました。

対処

退避ノードを空きサーバにしたうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110101: The {タグ名} does not exist in the configuration definition file.

意味

設定ファイルの<common_config>要素または<target_config>要素がありません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110102: The cluster has not been defined.

意味

設定ファイルに<cluster_name>オプションが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110103: The cluster does not exist.

意味

設定ファイルに指定したファームウェアアップデート対象のクラスタ名が存在しません。

対処

設定ファイルに指定しているクラスタ名を確認して修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110104: The cluster does not exist; clusterName = {クラスタ名}

意味

設定ファイルに指定したファームウェアアップデート対象のクラスタ名が存在しません。

対処

設定ファイルに指定しているクラスタ名を確認して修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110201: Node cannot be found in cluster; clusterName = {クラスタ名}

意味

設定ファイルに<ism_node_name>オプションが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110202: DRS Mode is deactivated and save node not configured.

意味

VMware DRSモードが無効の場合、設定ファイルに<temporary_ism_node_name>オプションが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110203: The detected node does not exist.

意味

設定ファイルに指定したファームウェアアップデート対象ノードのノード名が存在しません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110204: Number of normal nodes in the cluster on below the specified.

意味

クラスタ内の正常なノード数がファームウェアローリングアップデート機能の動作要件の規定値 (PRIMEFLEX HS V1.0/V1.1 / PRIMEFLEX for VMware vSAN V1版は4ノード以上、PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct版は3ノード以上) を満たしていません。

対処

異常なノードの問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110205: Illegal nodes = {不正ノード数}

意味

クラスタ内に障害が発生し、設定ファイルの強制実行オプションがFalseのため、ファームウェアローリングアップデート処理を中止します。
また、クラスタ内に障害が発生しているノード数を表示します。

対処

問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。
問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110213: When DRS is inactivated, <temporary_node_name> is necessary.

意味

VMware DRSモードが無効の場合、設定ファイルに<temporary_ism_node_name>オプションが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110215: Abnormal cluster. status = {ステータス}

意味

クラスタのステータスが正常ではありません。

対処

問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110216: Cluster cannot be found. cluster name = {クラスタ名}

意味

設定ファイルに<cluster_name>オプションが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110217: Invalid node_type = '{ノードタイプ}', Possible node_type:(RebootNo|RebootYes)

意味

設定ファイルの<node_type>オプションにRebootNoまたはRebootYesが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110218: There are VMs on the temporary node.

意味

退避ノードに電源オンの仮想マシンが存在しています。

対処

退避ノードを空きサーバにしたうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110219: Could not retrieve the temporary_node_name.

意味

設定ファイルに指定した退避先ノードが存在しません。

対処

設定ファイルに指定している退避先ノード名を確認して修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110221: When SCVMM is deactivated, <temporary_ism_node_name> is necessary.

意味

SCVMMがなしの場合、設定ファイルに必要な<temporary_ism_node_name>オプションが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110410: An incorrect save mode has been specified. ({退避モード})

意味

設定ファイルの<integrity_mode>オプションにaccessibility、copy_allまたはnoneが指定されていません。

対処

設定ファイルを修正したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。

E110801: Failed to move primaryhost. There are no normal nodes.

意味

プライマリホストの移動に失敗しました。移動可能な正常ノードがありません。

対処

サーバの状態を確認して問題を解決したうえで、ファームウェアローリングアップデート機能を再実行してください。

問題が解決しない場合は、保守資料を採取して、当社技術員に連絡してください。